



北見市長 かん だ こう じ  
神 田 孝 次



こうした恵まれた地域資源を活用し、各自治体がオホーツク全体の政策を考えていくことが求められており、オホーツク地域の中核都市である当市は大きな役割が期待されていると考えています。

### 3. 新市まちづくり計画と展望

当市は、地域の特色を生かしながら、継続性のある発展に向け、新市の将来ビジョンを示すまちづくり計画を策定しました。

真の地方分権に向け、将来想定される道州制を視野に入れた地方分権のモデルとなる自治体を目指すとともに、地域の歴史や文化、特性などを尊重し、地域全体の均衡ある発展に責任と役割を担

う、地域自治の確立を目指すまちづくりを進めていかなければなりません。

これらの実現に向け、住民と行政の役割と責任を明らかにしながら、住民参加と協働による「(仮称)まちづくり条例」の制定や北見方式である独自の自治区やまちづくり協議会を各地域に設け、住民自治のまちづくりを推進しています。

### 4. おわりに

近年、当市ではこれまでにない自然災害や事故が増えています。

安心して暮らせるまちづくりに向け、危機管理体制の強化を図るとともに地域での防災の取り組みを行い、さらに安心・安全なまちを目指さなければならないと決意を新たにしているところであります。

今、全国の自治体は厳しい財政運営を迫られており、当市もさまざまな行政課題を抱えている現状にあります。観光・農業・水産業その他あらゆる面において幅広く施策を展開し「ひと・まち・自然きらめくオホーツク中核都市」の実現に全力を注いでまいりたいと思っています。



小学生27チームが参加したソーラーカーレース  
(2007年9月1日開催)